

はじめに

日本語の習得が十分でない外国人児童生徒に対して、(財)岡山県国際交流協会がボランティアの「子ども日本語学習サポーター」を学校現場に派遣する制度を設けて4年目に入りました。この制度の認知度も高くなり、利用する学校も増加の傾向にあります。その一方、1人当たりの支援回数が限られている中で、日本語のコミュニケーション能力や読み書き能力のレベルが異なる子どもたちを、いかに効率的、効果的にサポートできるかということが大きな課題として浮かび上がってきました。

外国人児童生徒に対する日本語指導については、文部科学省が受入れの手引きを作成していますが、県ごとに異なる事情もあり、近年各県でも手引き書が作成されるようになってきました。これを機に、当協会でも平成23年4月、県内に在住する外国人児童生徒の支援方策の検討や教材開発を行う「岡山外国人児童生徒日本語学習支援研究会」を立ち上げ、その最初の取り組みとして「子ども日本語学習支援ガイドブック」を作成することに致しました。このガイドブックは、ボランティアの皆様が学校現場で日本語学習支援を行う際に参考となるよう、心構えや学校の仕組み、日本語学習支援の方法など、現場で役立つ基本的なことをわかりやすくまとめたものです。

支援に関する一連の流れに沿って、ボランティア側の視点に立って作成されたガイドブックは今まであまり目にしなかったように思われます。また、母国を離れ、文化の異なる日本で暮らすことによってストレスを抱えがちな子どもたちの、心理面における対処方法を取り上げて記載していることも特色です。

子どもの日本語学習支援に携わっているボランティアの皆様をはじめ、小学校や中学校の教員の皆様はこの冊子をご一読賜り、実践の場で活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、ガイドブック作成のために様々なご助言や情報をくださった、県内外の教育関係者の皆様、作成会議や原稿執筆のために多くの時間を割いてくださった研究会会長及び会員の皆様に心から御礼を申し上げます。

平成24年1月

財団法人岡山県国際交流協会
専務理事 森脇正己